



参議院議員 全国比例区

九州男 大島くすお



国会事務所

〒100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館910号室

電話03-6550-0910

kusuo_ooshima02@sangiin.go.jp

ホームページも
ご覧下さい

<http://kusuo-o.net/>



第23回

参議院選挙!!

7月4日公示

7月21日投票



いのちを大切に
社会をめざして

第183回国会(常会)が閉会しました。

6年前、私は、皆様の大きなご支援によって、国会における「いのち」をいただきました。

私は皆様からいただいた新たな「いのち」を平和と教育、健康に関する政策実現のため、全身全霊をかけて活用させ

ていただきました。

ここに6年間に渡る皆様からのご支援に心から感謝を申し上げ、山積する国政の諸課題を解決していくために引き続き仕事をさせていただきます。決意をあらたにしております。

人生を変えた震災
東日本大震災は私の

人生観を変える重大な出来事でした。

数え切れないほどの方々が想像を絶するようなお辛い経験をされ、同時に深い悲しみにさらされました。

私ができることは、一体どんなことだろう、自問自答をしながら、雲をつかむような思いで震災復興にあたらせていただきました。

あれから2年、被災地では徐々に復興を果たしています。

「復興スピードが遅い」「移転計画が進まない」こうしたご意見を伺うことも事実です。

これからも、被災地に足を運び、おひとりおひとりに寄り添わせていただき、ご意見を伺いたいと思います。

その地に適した支援をさせていただければ、望外の喜びです。

大島くすおプロフィール 昭和36年6月11日福岡県直方(のおがた)市生まれ

昭和59年3月日本大学法学部卒 平成3年4月直方市議会議員当選(3期12年)

2度の衆議院総選挙で惜敗するものの、平成19年7月参議院選挙(比例代表)で初当選

党副幹事長・政調副会長など歴任。家族は妻と2男。趣味は旅行・温泉・テニス・ウォーキング

名前の由来 高知県のいところが「土佐男(とさお)」なので、父が「九州男(くすお)」と名付けた

世界平和への願い

私は憲法審査会において世界平和の希求を主張し続けております。特に憲法九条の改正議論については、そもそも現在の平和憲法を改正する必要がないとの立場から、私は明確に異を唱えております。

憲法改正の発議要件を現行の衆参両院の3分の2から、2分の1に緩和した上で、九条改正や集団的自衛権を正当化する動きもあります。さらには十八条「何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない」を改正して徴兵制へも繋がるような大変憂慮すべき憲法議論がなされています。

私たちは、過去の過ちを二度と繰り返さないという確固たる信念を持ち、憲法の平和精神を堅持し続けなくてはなりません。

子どもたちのために

子どもは宝です。子どもたちが健やかに成長し、やがて日本を背負って立つ人材になってくれること。これが私の基本理念です。

私は学習塾開講の経験から、子育ては学校の見ならず、地域や私教育の関係者が一丸となつて取り組むべきであると主張しています。

最近では文部科学省

も学習塾等の私教育の存在に一目置くようになってきました。

引き続き、子育ては、家庭、学校、私教育、そして地域が一丸となつてすべきテーマであることを主張して参る所存です。

統合医療の普及・促進

日本には古くから伝わる伝統的な東洋医療が数多くあります。その中で私が取り組

んでいるのが国家資格である、柔道整復師、はり師きゆう師、あん摩マツサージ指圧師の制度改正です。

いずれも国家資格ですが、そもそも医師の同意がないと「施術」できないことがあったり、保険請求の方法が、柔道整復師は受領委任払い、はり師きゆう師、あん摩マツサージ指圧師は償還払いという仕組みにな

っており、通常の医科で行われている直接払いではありません。この結果、残念なこと、ほんの一部において不正請求が起きることから、私はこの仕組みを改め、まじめな方々が安心して働けるよう制度改正にまい進したいと考えております。

むすびに

再び国会における「いのち」をいただき、「いのちを大切に」する社会の実現に向けて全力で働かせていただく覚悟です。

本来であれば、直接皆様へごあいさつに上がらせていただくところですが、まずは書面をもって決意表明とさせていただきます。がんばります！

主な取り組み

● 被災地の中小企業支援

中小企業グループ化補助金を進化させて、支援先を津波と原子力災害で被害を受けた中小企業に特化した「津波原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」の新設で復興のスピードアップを実現しました
(平成25年度予算に採用されました！)

● 八重の桜プロジェクト

原発事故の風評被害に苦しむ福島県を応援するためNHK大河ドラマ「八重の桜」と連動した風評被害払拭キャンペーンを国・県と共に実践しました
(平成25年度予算で新規事業に採用！)

● 統合医療の推進

統合医療を普及・促進する議員の会事務局長として柔道整復術等の東洋医療を活用して、国民の健康増進と医療費抑制をはかっています
(療養費の改定に尽力致しました！)

● 理科教育の振興

深刻な社会問題となっている「子どもの理科離れ」対策に取り組み、技術立国日本の屋台骨を支える子どもたちへの投資を行っています
(平成25年度予算で予算大幅増！)

● 障害者政策の推進

障害者差別禁止法の制定に向けて、ろうあ団体等と意見交換を続けながら、誰もが安心できる社会づくりに全力を傾注しています

● 教科書のバリアフリーを実現

視力が低い子どもたちが安心して授業を受けられるよう拡大教科書の普及を促進し、全ての子どもたちが安心して教科書を利用できる環境を実現しました

● セイラースフォーザシー日本

米国ロックフェラー財団と共に海洋自然保護団体の日本事務局を設立。慈善活動を展開しながら世界の平和に繋がる取り組みを開始しています